

グラニット・パパット600

施工手順書

『グラニット・パパット 600』をお買い上げいただきありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「施工手順書」をよくお読みいただき正しい施工ご使用をお願いします。

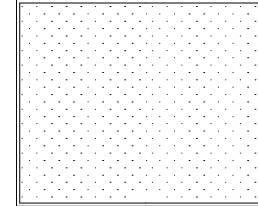
施工上の注意事項

1. 設置場所の平面が保たれているか十分に確認して施工してください。
2. 部品の取付けに電動ドライバーをご使用の場合には必ず低速回転で締め付けて下さい。
3. 本製品は「仕上げ済みフローア」上への設置が標準施工になっています。

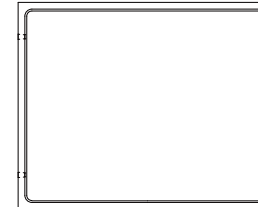
露出型防水層への直接の施工、簡易仕上げの屋上に設置する場所は設計・施工担当者ならびに弊社にご相談ください。

※梱包が雨等で濡れると、ダンボールが付着する場合がございます。
シート等で養生をお願いします。

PAPT-S-60・GRAN-S-60

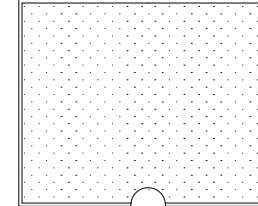


【正面図】

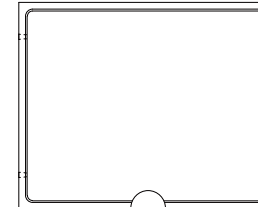


【背面図】

PAPT-SH-60・GRAN-SH-60

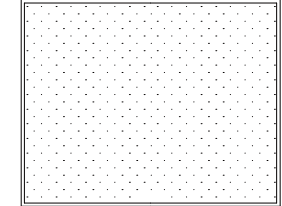


【正面図】

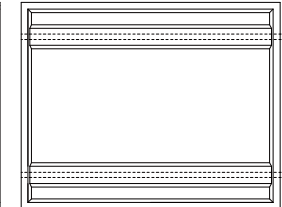


【背面図】

PAPT-F-60・GRAN-F-60



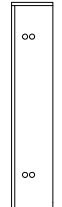
【正面図】



【背面図】

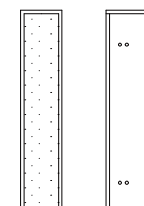


【側面図】



【側面図】

PAPT-CKD-60・GRAN-CKD-60

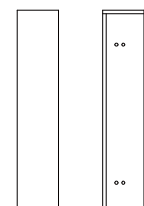


【正面図】



【側面図】

PAPT-CKI-60・GRAN-CKI-60



【正面図】



【側面図】

※フリーパネルは寸法カット対応有り

(1) 設置場所の確認

① パネル位置の確認

ドレンの位置、パラペット・躯体との取り合いなど。

② 水勾配のチェック

● 天端を水平に施工する場合

パネルと躯体との間に大きな隙間ができるため、巾木による処理、モルタルによる処理、二重床などの対応を行います。

● 躯体の成りで施工する場合

パネルと躯体との間に不陸などの小さな隙間が考えられるためスペーサーで調整します。(1～5mm位まで) パネル内部の排水は、水勾配なりで排水されます。

③ 屋上防水層との対処方法

● アスファルト防水のみの場合は、パネルをじか置きする方法はおやめください。(防水層を傷める時があります)

● 既存ビルの場合、屋上の亀裂の確認

このような場合は、漏水の原因になりやすいので気を付けましょう。

④ 電源・散水は使用できるかの確認

パネルをカットする場合や人口土壌を敷き均す時に必要です。

⑤ 躯体にアンカーが打ち込めるかの確認

配置によりアンカー固定が有効な場合があります。

⑥ 既存ビルの場合、屋上の亀裂の確認

このような場合は、漏水の原因になりやすいので気を付けましょう。

(2) 荷揚げ経路の確認

① ラフター・レッカー車

② エレベーター ③ 階段

以上の条件をチェックしてください。

本製品は改良の為予告なしに仕様等を変更することがありますのでご了承下さい。

標準付属部品

(パネルに付属している部品)

連結ボルト/ナット	スペーサー (硬質ゴム)
	※不陸調整に使用します。
	3×50×90 1枚/パネル

オプション部品一覧

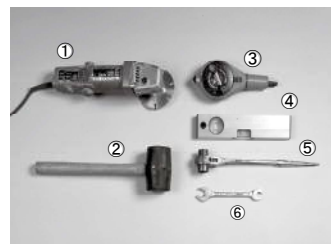
補強アングルセット	ジョイントアングルセット	ワイヤーセット	補強ベースセット
羽子板金具 ボルト・ワッシャー付	ボルト・ワッシャー付	ターンバックル クリップ付	ボルト・ワッシャー クイックシール付

連結ボルト/サイズ各種

(使用箇所によりサイズが違います。)

- 20mm... 補強ベース・ジョイントアングル
接続時に使用
- 38mm... 直角出入隅+基本・排水パネル
接続時に使用。
- 75mm... 基本・排水パネル
接続時に使用

組立に必要な工具



- ① ディスクグラインダー(ダイヤモンド刃)
- ② ゴムハンマー(パネルの潰れ防止)
- ③ 墨だし糸
- ④ 水準器
- ⑤ ラチェット(17mm)
- ⑥ 両口スジヤ(17mm)

株式会社トーシンコーポレーション

首都圏営業所 〒152-0001 東京都目黒区中央町2-35-13

TEL 03-3715-5566

関西営業所 〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-4-22 肥後橋プラザビル5階

TEL 06-6479-1433

北関東営業所 〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-5

TEL 048-771-9405

九州営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-1-33 はかた近代ビル3階

TEL 092-710-7734

1

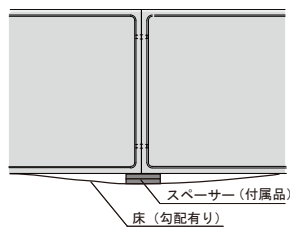
設置場所を墨出し パネルを仮置きします。

※各作業工程において
パネル同士上下・前後のズレ、
反りの有無の確認を
行ってください。

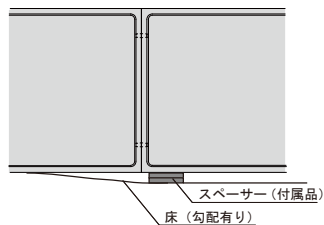
連結状態に問題が無く
床との間に隙間が生じて
しまう場合は、専用スペーサー
をご使用ください。

【専用スペーサー使用例】

<使用例①>



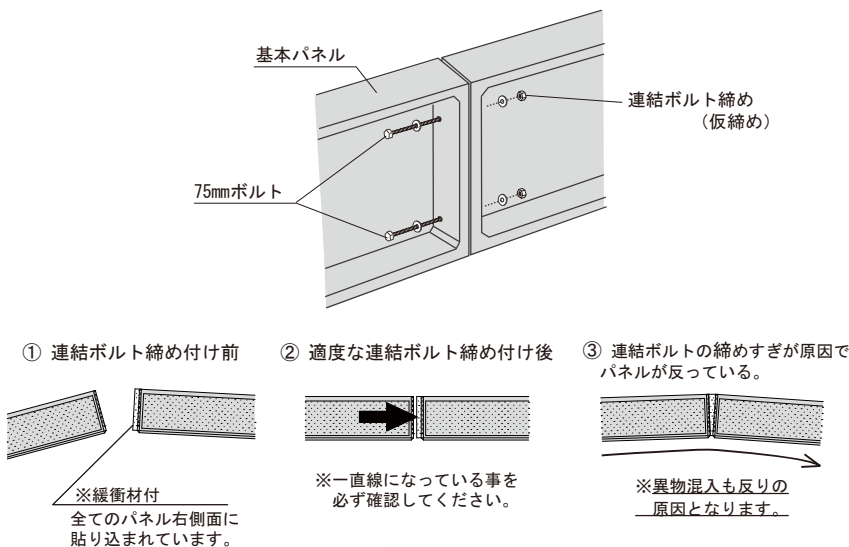
<使用例②>



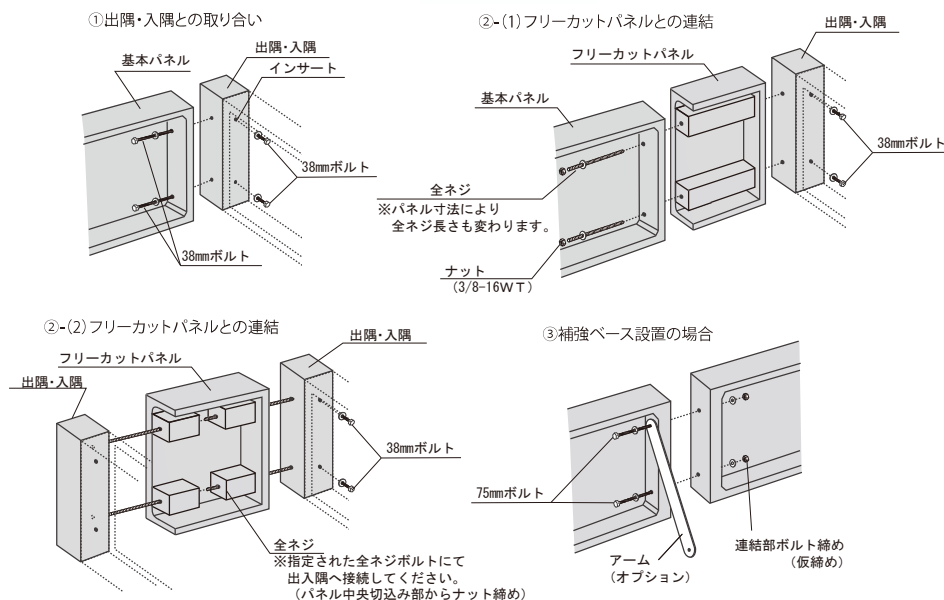
2

パネルの連結

連結させるパネルの間に、上下・前後のずれがない位置でボルトを締め付けていき
パネル同士が一直線になったところで締め付けをおこなってください。



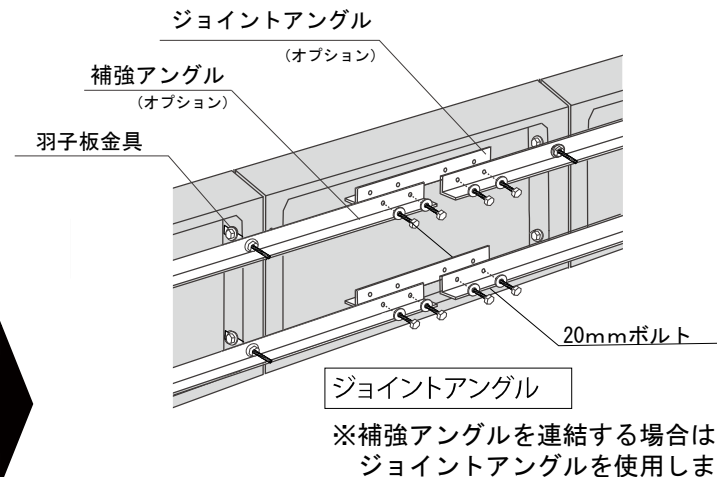
【主な施工例】



3

連結方法

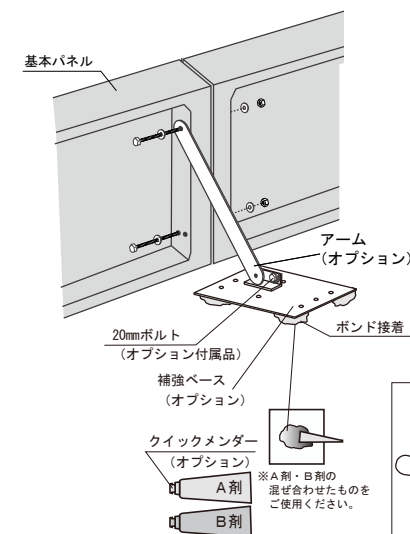
基本パネルが3枚以上連続する場合に補強アングルを使用します。
補強アングルを固定するには羽子板金具を取り付けます。



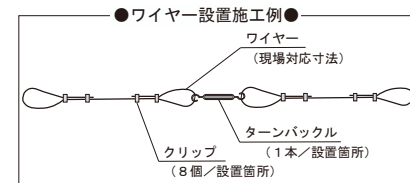
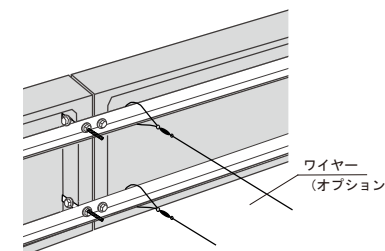
4

補強オプション使用時

補強ベースによる補強



ワイヤーによる補強

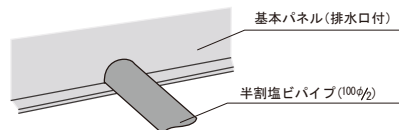


5

排水バイパスの設置

パイプを切断して、排水口にぴったりとくっつけて設置します。

※排水バイパスはオプション品になります。



6

耐根補助シート・保水排水マット・透水フィルター（お客様でご用意ください。）
をセットし、最後に土壌を敷きならして終了です。